

入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	令和元年 8月29日(木) 本部1号館第2会議室	
委員	委員長 玉田 斎 (弁護士)	
	委員 長谷川 周義 (公認会計士)	
	委員 小川 隆文 (不動産鑑定士)	
	委員 熊田 一充 (名古屋大学監事)	
審議対象期間	平成30年 7月 1日 ~ 令和元年 6月30日	
抽出案件(合計)	20 件	(備考)
工事(小計)	12 件	今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。 <抽出案件> 名古屋大学 6件 静岡大学 2件 浜松医科大学 2件 三重大学 2件 岐阜大学 2件 豊橋技術科学大学 2件 愛知教育大学 2件 名古屋工業大学 2件 合計 20件
一般競争入札(政府調達に関する協定対象工事)	0 件	
一般競争入札(上記を除く)	11 件	
工事希望型競争入札	0 件	
通常指名競争入札	0 件	
随意契約	1 件	
設計・コンサルティング業務(小計)	8 件	
公募型プロポーザル方式	0 件	
簡易公募型プロポーザル方式	0 件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	7 件	
標準型プロポーザル方式	0 件	
一般競争入札	1 件	
随意契約	0 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	別紙のとおり	

※ 委員からの意見・質問、それに対する回答等はできるだけ詳細に記入すること。

別紙

質 問	回 答
<p>1. 審議対象工事及び設計・コンサルティング業務の抽出結果について (担当委員より説明) ・特になし</p>	
<p>2. 建設工事及び設計・コンサルティング業務に関する入札・契約手続について ・前年度からの改正点があれば説明いただきたい。</p>	<p>施設管理部より概要を説明。前年度からの改正点はなし。</p>
<p>3. 各大学において発注した建設工事及び設計・コンサルティング業務について (審議対象案件の抽出と併せて担当委員より説明)</p>	
<p>4. 指名停止等の措置状況について (一覧のとおり)</p>	
<p>5. 再苦情処理会議への申立状況について (再苦情処理については申立がなかった旨を報告)</p>	
<p>6. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議 (名古屋大学) (1) 工事 一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事を除く) 【(東山) オークマ工作機械工学館新営その他機械設備工事】</p> <p>・オークマから、施工業者の指定はあったのか。 ・入札額の算出方法はどの業者も同じか。予測が可能なのか。</p> <p>・見積書は何社から徴取するのか。また、徴取する時期はいつか。</p> <p>・評価において、配置予定技術者の能力については落札業者のみ満点であるがなぜか。</p>	<p>・ない ・積算基準は公表されているので、おおよそわかる。ただし、掛け率は各機関の判断によるため、本学の予定価格と全く同じように積算することは難しいと思われる。</p> <p>・複数社から見積もりを徴取し、安価な社を見積を選択する。予算要求時に徴取するため約1年前である。また、見積書は専門業者ごと (例えばコンクリートや鉄筋ごと) に徴取している。</p> <p>・他の業者においては、技術者が他の工事に従事しているために確保できなかったのではないかとと思われる。</p>

質 問	回 答
<p>【（東山）オークマ工作機械工学館新営その他工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価において、鴻池組は配置予定技術者の能力が0点だがなぜか。 ・不落随契による見積回数3回に至るまでの経緯、見積の適正性、改善点を教えてほしい。 <p>【（東山）総合運動場テニスコート等改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低入札案件であるが、入札書の内訳はわかるのか。 <p>随意契約方式</p> <p>【（滝ノ水）職員宿舎6号棟他屋上防水修繕工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元々の施工業者に発注することはないのか。 ・緊急的に随意契約を行うことは、誰の判断によって可能となるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会社としての能力は有するものの、技術者が確保できなかったのではないかと推察される。 ・入札は2回行うのが本学の原則であり、落札者がいない場合は不落随契の協議を経て見積合わせとなる。本件は、総合評価落札方式であり、評価得点を入札価格で除して得た評価値の高い者が落札者となる。そのため、不落となった後、評価値の高い者と不落随意契約の協議を行い、見積合わせ3回にて予定価格を下回ったものである。入札金額と予定価格の差は、人件費の高騰ではないかと推測している。応札者数増加への対策としては、工事予定についてわかり次第速やかに公表することを心掛けている。 ・業者から内訳をもらっている。 ・発注予定であることは連絡するが、競争により施工業者を選定する。 ・施設管理部長の決裁をもって随意契約とする。
<p>(2) 設計・コンサルティング業務 簡易公募型プロポーザル方式（拡大）</p> <p>【（東山）基幹・環境整備（屋外排水管、土木構造物）設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術提案者が一者なのはなぜか <p>【（東山他）基幹・環境整備（給水・ガス・電気設備）設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募者数が1者の理由は <p>【その他】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提案書提出前に辞退があったため。 ・1者応札の理由は不明だが、その応札者については大学の求める技術を有していることは確認している。

質 問	回 答
<p>・全体的に1者応札が多いのはなぜか（1月に集中している）。</p> <p>・総合評価落札方式の制度について教えてほしい。他大学においても同様の運用なのか。</p>	<p>・予算の関係で年度末発注が多くなるため技術者の確保が難しい、大阪府北部地震を契機とした安全対策の補修工事が増えたため、などが考えられる。（1月は補正予算によるブロック塀改修工事が全国的に多かったと聞いている）</p> <p>・250万円以上は一般競争入札、1億円以上は総合評価落札方式となる。総合評価落札方式には、標準型、簡易型、実績評価型があり、標準型はWTOの基準額以上のものに適用する。簡易型か実績評価型の選択については技術的な工夫の余地があるかどうか（業者に提案をさせる）によって分かれ、実績評価型は過去工事実績等で比較する方法、簡易型は業者に提案をさせる方法である。他大学においても、おそらく文科省通知に従って実施していると思われる。</p>
<p>7-1. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議（静岡大学） (1) 工事 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く） 【（城北）総合研究棟（工学系）新営その他工事】</p> <p>・評価点は業者決定には影響しないのか？</p> <p>・東京オリンピックの影響については詳細はわかるか。</p> <p>・入札方法を最低価格落札方式とするか総合評価方式とするかの使い分けは。実績評価型と施工体制確認型の違いは。</p>	<p>・本件の入札方式は、総合評価落札方式の実績評価型に施工体制確認型を合わせたものである。実績評価型に対する評価は行っているが、施工体制については、予定価格の範囲内で入札した業者がないため、評価をしていない。予定価格範囲内で入札した業者がないため、評価点は、業者決定に影響はしない。</p> <p>・オリンピック関連の鉄骨工事における材料発注等の増加が静岡県内まで及んだことにより、人員不足やコスト増などの影響で業者の積算金額が上がったと聞いている。</p> <p>・競争参加資格等審査委員会と総合評価審査委員会にて決定した内規により入札方式を決めている。総合評価落札方式の基準は、2,500万円以上で、施工体制確認型の基準は、文科省通知の2億円である。</p>
<p>(2) 設計・コンサルティング業務 標準型プロポーザル方式</p>	

質 問	回 答
<p>【(城北他) 総合研究棟 (工学系Ⅱ期) 新営等設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参考見積書はとるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回は 6 社から徴取している。
<p>7-2. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議 (浜松医科大学)</p> <p>(1) 工事</p> <p>一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事を除く)</p> <p>【環境整備 (敷地造成) 工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし 	
<p>(2) 設計・コンサルティング業務</p> <p>簡易公募型プロポーザル方式 (拡大)</p> <p>【病院医療機能強化棟 (仮称) 等基本設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見積回数 4 回の経緯は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回数の制限は設けていない。優先交渉権者であり競争相手がいないため、当初は高めの見積を設定しながら徐々に金額を落としていくというのは業者側の手法であると思われる。
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高い落札率を改善するために実施したことを教えてほしい。 ・ エアーファン取設工事の落札率が 100% を超えているが。 ・ 随意契約の予定はどうやって公表しているか。 ・ 随意契約に 1 社が多いが。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 等級や業者の登録地域の幅を広げた、入札まで十分な期間を確保した、などがある。 ・ 記載数字の誤りであった。 ・ HP で 1 週間を目安に公表している。 ・ 業者へ電話をして公表の連絡はしている。
<p>7-3. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議 (三重大学)</p> <p>(1) 工事</p> <p>一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事を除く)</p> <p>【(教育) 教職支援センター改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札者数が多いのは、何か改善をされたのか。 <p>・ 配置予定技術者の能力は過去 4 年間の実績を問うているがなぜか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特段実施していることはないが、参加しやすく参加資格の幅を広げることはしている。工事の実績も、学校校舎に限定せず、事務所等の一般的な実績でも参加可能としている。 ・ 文科省の基準に合わせている。
<p>(2) 設計・コンサルティング業務</p> <p>簡易公募型プロポーザル方式 (拡大)</p> <p>【(上浜) 教養教育校舎 4 号館他改修設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見積回数 1 回が多いがなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に措置を講じていることもなく不明。

質 問	回 答
<p>・選定された業者は参加業者数や評価点順位はわかるのか。</p>	<p>・応募段階ではわからない。のちに公表する。技術提案書の審査結果を送付する際に、次順位選定業者がある旨を一文記載しているため、他者がいることは認識できる。</p>
<p>7-4. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議（岐阜大学） （1）工事 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く） 【岐阜大学（柳戸）応用生物科学部校舎（B・C棟）Ⅰ期改修工事】</p> <p>・総合評価落札方式の加算点について、企業の施工能力は、配置予定技術者の能力、企業の施工能力等に分割して配点しているが他大学はまとめて配点している。違いは。</p> <p>・品質確保の実効性で評価点に差がついているが、内容は。</p> <p>・配置予定技術者の能力に直近4年間の縛りを長期間にするなど検討の余地はある（岐大は15年）。加算点の配点比重についても、企業の施工能力を分割して評価することも検討の余地はある。</p>	<p>・年間通して同配点としている。入札の評価に関する基準は各大学で決定しているため、他大学の考え方は不明である。</p> <p>・特筆すべき技術的な提案があれば加点している。</p> <p>・本学では、実績評価の期間を15年間としており、加算点の配点比重についても適切であると考えている。</p>
<p>（2）設計・コンサルティング業務 簡易公募型プロポーザル方式（拡大） 【岐阜大学（柳戸）航空宇宙生産技術開発センター新営設計業務（実施設計）】</p> <p>・技術提案書評価表の点数が僅差であった場合は、再考の余地があるのか。</p> <p>・提案の独創性などは案件（改修・新営）によって異なるのか。</p> <p>・評価表は公表するのか。</p> <p>・評価点について苦情を言う業者はあるのか。</p>	<p>・僅差であろうとも、点数の上位者を自動的に選ぶこととなる。</p> <p>・案件によって変更することはない。</p> <p>・決定業者以外は匿名とする。</p> <p>・質問があれば受け付けており、その都度答えている。</p>
<p>7-5. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議（豊橋技術科学大学） （1）工事 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く） 【基幹・環境整備（特高受変電設備）（電気設備）工事】</p>	

質 問	回 答
<p>・低入札調査で資材費の安価な調達が挙げられているが、資材費はそれほど安くなるのか。また、資材費の割合は。</p> <p>・今回設置する設備は自社で製作可能なものか。</p> <p>・低入札業者が複数ある場合は、当該複数業者全てに低入札調査を実施するのか。</p> <p>・本件は既設の更新か。</p>	<p>・本件は資材費が6～7割を占めている。業者の資材取引先の状況によってや資材の種類によって異なるが、本件は安価に調達できると聞いている。</p> <p>・可能である。</p> <p>・調査の結果、第1順位業者に問題があれば次順位の業者と契約を締結することになるため、当該複数業者全てに対して調査を実施している。</p> <p>・本件は新規に設置したものである。</p>
<p>(2) 設計・コンサルティング業務 簡易公募型プロポーザル方式(拡大) 【総合研究棟(B1,B3棟等)改修設計業務】</p> <p>・見積回数が多い(5回)の理由は。</p> <p>・参加表明書審査結果の表では、参加表明と評価の点数が一覧になって記載されているが一緒に審査を行うのか。</p>	<p>・金額が折り合わない場合に評価点数次順位の業者を繰り上げることはなく、まずは1社と価格交渉をすることになる。それでも折り合わない場合は再公募もあり得る。</p> <p>・便宜上、表としては一覧になっているが、審査は別で行っている。</p>
<p>7-6. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議(愛知教育大学)</p> <p>(1) 工事 一般競争入札方式(政府調達に関する協定適用対象工事を除く) 【(井ヶ谷)実習棟(次世代教育イノベーションホール)改修工事】</p> <p>不落見積回数2回に至るまでの経緯は。また、落札率が高い(99.94%)理由を伺いたい。</p>	<p>・入札を3回行ったが本学の予定価格を下回る入札がなかったため、随意契約へ移行し、見積徴収2回目で予定価格を下回ったそのため、予定価格と大きな差が出なかったと考えられる。</p>
<p>(2) 設計・コンサルティング業務 一般競争入札方式 【(井ヶ谷他)基幹・環境整備(傾斜地安全対策)設計業務】</p> <p>・他社との入札金額に開きがあるがなぜか。</p>	<p>・業者にヒアリングをしていないため実態は不明であるが、業者間あるいは本学と積算方法が異なったものだと思われる。</p>

質 問	回 答
<p>7-7. 建設工事における抽出案件の審議（名古屋工業大学）</p> <p>(1) 工事 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）</p> <p>【基幹整備（排水設備）工事（Ⅱ期）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応札者が1者だった理由は 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本件は再入札の案件であり、当初の使用では土木工事も多く含んでいたため管工事業者では参加しづらかったものと思われる。再入札に合わせて工事内容の見直しを行った。
<p>(2) 工事 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）</p> <p>【55号館等屋内消火栓設備等改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1者が辞退したがその理由は。 ・ 業者側で、人材確保が難しくなるほど他の契約締結案件を多く抱えているというのは、消費税増税前であることが原因か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他工事に技術者を多く配置しており、人材の確保ができなかったと聞いている。 ・ むしろ、小中学校の空調機設置が全国的に多く行われていることが要因と考えられる。

【委員会からの意見】

- ・ 総合評価落札方式の加算点評価において、企業の技術力の配点比重については、ある特定の項目に偏ることなく、分散して評価ができるように工夫されたい。また、評価項目の一つである配置予定技術者の能力については、直近4年間の実績を評価する方法では業者の参加に足枷となる場合があり、緩やかな期間を設定することも、場合によっては検討の余地があると思われる。
- ・ 設計の簡易プロポーザル方式については、選定した業者が高値からの見積を提示することを抑制するために、次順位者がいることを通知することで契約金額を抑えることが可能と思われる。業者への審査結果通知等にその旨記載することを検討されたい。